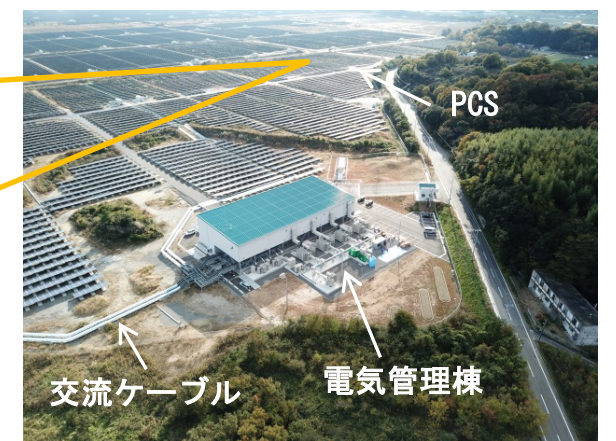
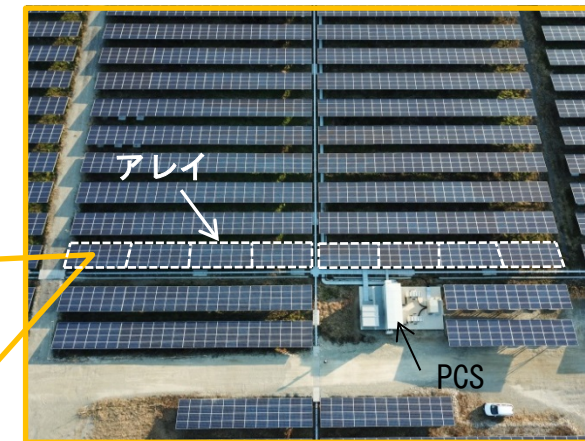
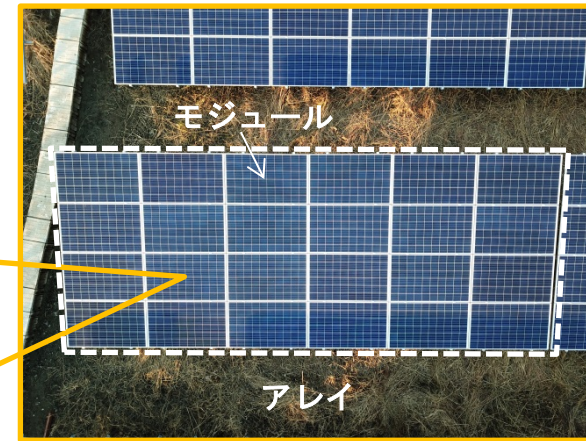
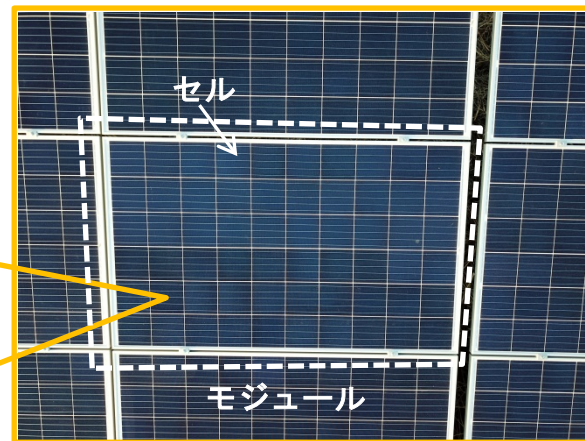
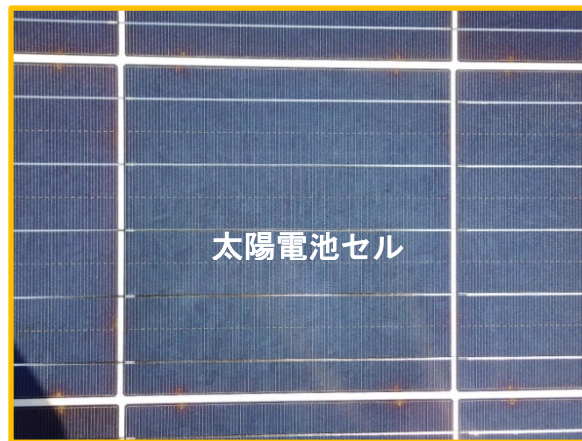


太陽光パネルの設置が終了した部分から、電線の接続作業が進んでいます



半導体(シリコン)を薄くスライスした手の平程度の板を、「セル」と言います。厚さは1mm程度。この板で、太陽の光を、電気(直流)に変換します。

セルを直列につないだものを、「モジュール」と言います。大きさは畳1枚程度。直列で接続されているため、鳥のふん等で汚れると、発電効率が低下します。

モジュールを24個まとめたものを「アレイ」と言います。アレイの中のモジュール同士は、直列につながっています。

アレイ単位の電線を「ストリング」と言います。8本をひとかたまりとして、並列で集電箱に接続します。

集電箱を、直流を交流に変換する設備(PCS)に接続します。PCSにつながれた電気は交流に変換されて、電気管理棟を経て送電線に接続されます。

